

第147回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	現金過不足	当座預金	売掛金
有価証券	前払金	未収入金	未収利息
備品	買掛金	前受金	未払利息
所得税預り金	引出金	売上	有価証券売却益
受取手数料	受取利息	雑益	通信費
発送費	租税公課	有価証券売却損	支払手数料
支払利息	雑損		

1. 決算日において、過日貸方に計上していた現金過不足 ¥ 25,000 の原因を改めて調査した結果、通信費 ¥ 8,000、受取手数料 ¥ 30,000 の記入漏れが判明した。残額の原因は不明であったので、雑益または雑損として処理する。
2. 営業用店舗にかかる固定資産税 ¥ 100,000 と店主個人の住宅にかかる固定資産税 ¥ 60,000、店主の所得税 ¥ 150,000 を現金で納付した。
3. 得意先レゴリス商店に商品 ¥ 880,000 を売り上げ、代金については注文時に同店から受け取っていた手付金 ¥ 200,000 と相殺し、残額を掛けとした。なお、得意先負担の発送費 ¥ 10,000 は現金で支払った。
4. 前期の決算において未払利息 ¥ 64,000 を計上していたので、当期首において再振替仕訳を行った。
5. 当期首に買入れた株式会社マストボールの株式 1,000 株（取得原価：¥ 980,000）のうちの半分を、1 株につき ¥ 960 で売却し、代金は後日受け取ることにした。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金過不足	25,000	受取手数料	30,000
	通信費	8,000	雑益	3,000
2	租税公課	100,000	現金	310,000
	引出金	210,000		
3	前受金	200,000	売上	880,000
	売掛金	690,000	現金	10,000
4	未払利息	64,000	支払利息	64,000
5	未収入金	480,000	有価証券	490,000
	有価証券売却損	10,000		